

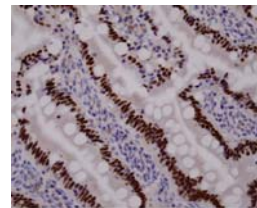
## Anti human HNF4 $\gamma$ mouse monoclonal antibody

HNF4 $\gamma$ : Hepatocyte Nuclear Factor 4 $\gamma$

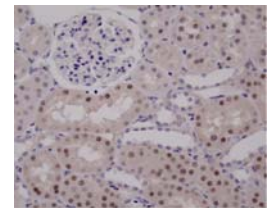
製品コード	PP-N3224-00 旧コード —
Clone No.	N3224
Lot.	A-1
濃度	1mg/mL
容量	100 $\mu$ L
Ig class	G2a
Nomenclature	NR2A3
Genebank	Z49826
由来	ヒト HNF4 $\gamma$ (96-408 aa) の 大腸菌発現物を免疫した BALB/c マウスの脾臓細胞と、マウスミエロマ細胞 (NS-1) を融合して得たハイブリドーマを、BALB/c マウスに接種して得られた腹水。
特異性	ヒト HNF4 $\gamma$ と特異的に反応する。ヒトHNF4 $\alpha$ と反応しない。マウスおよびラットHNF4 $\gamma$ と交差反応する。
精製法	硫酸塩析法
溶媒	生理的食塩水(防腐剤として0.1% NaN3添加)

Application 使用濃度は実験にあわせて至適化が必要です。

Western Blot	可 参考使用濃度 1 $\mu$ g/mL
非還元 Western Blot	可 参考使用濃度 3 $\mu$ g/mL
ELISA	可 参考使用濃度 0.01 $\mu$ g/mL (A450=1.0)
免疫沈降	未検討 参考使用濃度 —
Supershift Assay	未検討 参考使用濃度 —
クロマチン免疫沈降	未検討 参考使用濃度 —
免疫染色	可 参考使用濃度 10 $\mu$ g/mL



ラット  
小腸粘膜上皮細胞



ラット  
腎近位尿細管細胞

**保存方法** 1ヶ月程度の保存の場合は、2~8 $^{\circ}$ Cで保存可能です。長期保存の場合は、抗体を小分けした上で、-20 $^{\circ}$ C以下での保存をお勧めします。また、凍結融解を繰り返すと、抗体が劣化し、本来の性能が得られない場合があるため、お避けください。

### 参考文献

**備考** 溶媒に含まれるNaN3は、鉛や銅と反応し爆発性化合物を形成する恐れがあります。廃棄の際には大量の水と一緒に希釈して廃棄してください。

FOR RESEARCH ONLY. NOT FOR USE IN HUMANS.

本製品は研究目的のみで使用することができます。人やそのほか動物の疾病診断、治療・予防に使用することはできません。研究目的以外で使用する場合は、あらかじめ弊社にご相談ください。

MADE IN JAPAN

Apr 24, 2008